

職業実践専門課程等の基本情報について

| | | | | | | | |
|------------------------------|--|---------------------------------------|-------------------------|--|--------------------|----------------|----------------|
| 学校名 | | 設置認可年月日 | 校長名 | 所在地 | | | |
| キャットミュージックカレッジ専門学校 | | 昭和63年3月30日 | 美根 宏史 | 〒 564-0062 (住所) 大阪府吹田市垂水町3-29-18 (電話) 06-6369-1101 | | | |
| 設置者名 | | 設立認可年月日 | 代表者名 | 所在地 | | | |
| 学校法人大阪創都学園 | | 昭和63年3月30日 | 鈴木 雅文 | 〒 564-0062 (住所) 大阪府吹田市垂水町3-29-18 (電話) 06-6369-1101 | | | |
| 分野 | 認定課程名 | 認定学科名 | 専門士認定年度 | 高度専門士認定年度 | 職業実践専門課程認定年度 | | |
| 文化・教養 | 文化・教養専門課程 | 総合学科 | 平成17(2005)年度 | - | 平成26(2014)年度 | | |
| 学科の目的 | 教育基本法、及び学校教育法に基づき幅広く音楽表現及びスタッフ技術に関し必要とされる技能を養成し、又は教育の向上を図ることを目的とする。 | | | | | | |
| 学科の特徴(取得可能な資格、中退率等) | 主な学修成果 音楽業界で就業可能な技術を得得する。 令和5年度中退率 13.0% | | | | | | |
| 修業年限 | 昼夜 | 全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数 | 講義 | 演習 | 実習 | 実験 | 実技 |
| 2年 | 昼間 | ※単位時間、単位いずれかに記入 1,760 単位時間 - 単位 | 420 単位時間 - 単位 | 60 単位時間 - 単位 | 1,280 単位時間 - 単位 | 0 単位時間 - 単位 | 0 単位時間 - 単位 |
| 生徒総定員 | 生徒実員(A) | 留学生数(生徒実員の内数)(B) | 留学生割合(B/A) | | | | |
| 60人 | 31人 | 0人 | 0% | | | | |
| 就職等の状況 | ■卒業者数(C) | | 7人 | | | | |
| | ■就職希望者数(D) | | 7人 | | | | |
| | ■就職者数(E) | | 5人 | | | | |
| | ■地元就職者数(F) | | 5人 | | | | |
| | ■就職率(E/D) | | 71% | | | | |
| | ■就職者に占める地元就職者の割合(F/E) | | 100% | | | | |
| | ■卒業者に占める就職者の割合(E/C) | | 71% | | | | |
| | ■進学者数 | | 0人 | | | | |
| | ■その他 | | | | | | |
| | ミュージシャンとしてのアーティスト活動等 (令和5年度卒業者に関する令和4年5月1日時点の情報) | | | | | | |
| 第三者による学校評価 | ■民間の評価機関等から第三者評価: ※有る場合、例えば以下について任意記載 | | 0 | | | | |
| | 評価団体: ○○○○ | 受審年月: ○年○月 | 評価結果を掲載したホームページURL ○○○○ | | | | |
| 当該学科のホームページURL | ○○○○○ | | | | | | |
| 企業等と連携した実習等の実施状況(A、Bいずれかに記入) | (A: 単位時間による算定) | | | | | | |
| | 総授業時数 | | | 1,760 単位時間 | | | |
| | うち企業等と連携した実験・実習・実技の授業時数 | | | 360 単位時間 | | | |
| | うち企業等と連携した演習の授業時数 | | | 0 単位時間 | | | |
| | うち必修授業時数 | | | 1,760 単位時間 | | | |
| | うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の授業時数 | | | 360 単位時間 | | | |
| | うち企業等と連携した必修の演習の授業時数 | | | 0 単位時間 | | | |
| | (うち企業等と連携したインターンシップの授業時数) | | | 0 単位時間 | | | |
| | (B: 単位数による算定) | | | | | | |
| | 総授業時数 | | | - 単位 | | | |
| うち企業等と連携した実験・実習・実技の授業時数 | | | - 単位 | | | | |
| うち企業等と連携した演習の授業時数 | | | - 単位 | | | | |
| うち必修授業時数 | | | - 単位 | | | | |
| うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の授業時数 | | | - 単位 | | | | |
| うち企業等と連携した必修の演習の授業時数 | | | - 単位 | | | | |
| (うち企業等と連携したインターンシップの授業時数) | | | - 単位 | | | | |
| 教員の属性(専任教員について記入) | ① 専修学校の専門課程を修了した後、学校等においてその担当する教育等に従事した者であって、当該専門課程の修業年限と当該業務に従事した期間とを通算して六年以上となる者 (専修学校設置基準第41条第1項第1号) | | 1人 | | | | |
| | ② 学士の学位を有する者等 (専修学校設置基準第41条第1項第2号) | | 2人 | | | | |
| | ③ 高等学校教諭等経験者 (専修学校設置基準第41条第1項第3号) | | 0人 | | | | |
| | ④ 修士の学位又は専門職学位 (専修学校設置基準第41条第1項第4号) | | 0人 | | | | |
| | ⑤ その他 (専修学校設置基準第41条第1項第5号) | | 1人 | | | | |
| | 計 | | 4人 | | | | |
| | 上記①～⑤のうち、実務家教員(分野におけるおおむね5年以上の実務の経験を有し、かつ、高度の実務の能力を有する者を想定)の数 | | 4人 | | | | |

1. 「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

教育課程編成委員会においては、本校教育課程充実に向け、各学科関連業界との連携を密にし、現状カリキュラムの確認や今後取り入れていくべき内容についての闊達な意見交換を行う。また、審議内容についての本校教育課程への導入等について審議していくものとする。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記

本委員会は、各学科ごとに実施運営される。本委員会にて決議した内容については学校長へ答申し、学科別会議や各専攻分会、授業別会議等において、内容等について審議したうえで教育課程編成に可能な範囲で反映していくものとする。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和6年8月31日現在

| 名前 | 所属 | 任期 | 種別 |
|-------|---------------------|------------------------|----|
| 井筒 稔晴 | 一般社団法人日本音楽スタジオ協会 | 令和5年4月1日～令和7年3月31日(2年) | ① |
| 里見 匡一 | 有限会社パブリックミュージックワークス | 令和5年4月1日～令和7年3月31日(2年) | ③ |
| 平沼 正裕 | アームジョブユナイテッド株式会社 | 令和5年4月1日～令和7年3月31日(2年) | ③ |
| 井尻 健作 | 株式会社スタジオアッシュ | 令和5年4月1日～令和7年3月31日(2年) | ③ |
| 森 久誌 | 株式会社 フォレスト | 令和5年4月1日～令和7年3月31日(2年) | ③ |
| 白藤 浩史 | 教務部副主任 | | — |

※委員の種別の欄には、企業等委員の場合には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。

(当該学校の教職員が学校側の委員として参画する場合、種別の欄は「—」を記載してください。)

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

年2回(10月、3月)

(開催日時(実績))

第1回 令和5年10月12日 14:00～15:30

第2回 令和6年3月28日 14:00～15:30

0

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。

意見:エンタテインメント業界の現在の動向を踏まえ、デジタルコンテンツやマーケティングについての知識、技能を習得していく必要性が、今後さらに重要になると思われる。

活用状況:現行の音楽業界概論や企画制作などの授業内容を精査し、次年度以降のカリキュラムに反映を行えるよう検討を進める。

2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1) 実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

本校は、カリキュラム構築・個別授業構築において業界関係企業との連携を密にし、実践に対応した教育内容を提供するために努力していく。また、内容に応じて業界関係企業と提携し、実技・実習・演習等の運営を委託し実施していく。

(2) 実習・演習等における企業等との連携内容

※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記

・講師派遣における学内授業の実施・特別実習における専用施設を使用した実習の実施及び講師派遣・前後期試験の実施、作品/実習等における採点、出席率等総合評価を行う

(3) 具体的な連携の例 ※科目数については代表的な5科目について記載。

| 科目名 | 科目概要 | 連携企業等 |
|--------|---|------------|
| アンサンブル | アンサンブルを通じて、バンドサウンドにおけるリズム、ハーモニー、メロディーなどのアレンジを体得します。また、ステージ上でのルール、マナー、音響・照明・進行に至るまでの知識を理解していきます。 | 有限会社ヘッドライン |
| 照明実習 | 照明器具の取り扱いや実践に近い形での「仕込み」を学習します。また、調光操作卓の操作方法や楽曲とキューシートに合わせて、オペレートをを行います。 | 株式会社ミス・ユ一 |
| | | |
| | | |
| | | |

3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1) 推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

※研修等を教員に受講させることについて諸規程に定められていることを明記

教職員が学校の基本方針を理解し業務を遂行する上において、自身の自己研鑽に努めることの必要性を理解するとともに、学生・生徒の人材育成において必要な知識や技術の習得を目的とする。また、全体での実施はもちろん、自己研鑽における自発的な研修参加や音楽活動等についても業務に支障のない範囲でバックアップする。教員は、キャットミュージックカレッジ専門学校「授業運営に関するガイドライン」に基づいて、学園又は各種団体等の研修を受け、資質の向上に努めていく。計画は教務部が定める年間行事予定において示される。

(2) 研修等の実績

① 専攻分野における実務に関する研修等

| | |
|--|----------------------------|
| 研修名: 京都大作戦 | 連携企業等: 地域環境デザイン研究所 ecotone |
| 期間: 令和5年7月1日～7月2日 | 対象: 教務職員4名 |
| 内容: 大型フェスイベントでの環境対策へスタッフ参加し、音楽イベント開催時の地域環境対策について知見を深める | |
| 研修名: SUMMER SONIC | 連携企業等: キョードー大阪 |
| 期間: 令和5年8月17日～8月20日 | 対象: 教務職員4名 |
| 内容: 大型音楽フェスにおける運営方法やスタッフのオペレーションについて学ぶ | |
| 研修名: Neighbors Complainによるバンドセミナー | 連携企業等: Neighbors Complain |
| 期間: 令和5年10月7日 | 対象: 教務職員4名 |
| 内容: 海外留学経験のあるバンドによるセミナー。作曲やバンドサウンドに関してを実演含めてレクチャー。 | |

② 指導力の修得・向上のための研修等

| | |
|--|----------------------|
| 研修名: テーブルマナー講習 | 連携企業等: 東急REIホテル |
| 期間: 令和6年1月15日 | 対象: 教務教員2名 |
| 内容: 取引先との会食など様々な場面でスマートな振る舞いで食事をする「たしなみ」を覚える | |
| 研修名: 「子供たちの課題」に関するセミナー | 連携企業等: 株式会社 ウェーブブリッジ |
| 期間: 令和6年3月26日 | 対象: 全学科教員90名 |
| 内容: 中高生の行動特性の変遷などに関する講習。 | |

(3) 研修等の計画

① 専攻分野における実務に関する研修等

| | |
|--|----------------------------|
| 研修名: 京都大作戦 | 連携企業等: 地域環境デザイン研究所 ecotone |
| 期間: 令和6年7月 | 対象: 教務職員4名 |
| 内容: 大型フェスイベントでの環境対策へスタッフ参加し、音楽イベント開催時の地域環境対策について知見を深める | |
| 研修名: SUMMER SONIC | 連携企業等: キョードー大阪 |
| 期間: 令和6年8月 | 対象: 教務職員4名 |
| 内容: 大型音楽フェスにおける運営方法やスタッフのオペレーションについて学ぶ | |

② 指導力の修得・向上のための研修等

| | |
|--|-----------------|
| 研修名: テーブルマナー講習 | 連携企業等: 東急REIホテル |
| 期間: 令和7年1月 | 対象: 教務教員2名 |
| 内容: 取引先との会食など様々な場面でスマートな振る舞いで食事をする「たしなみ」を覚える | |
| 研修名: Z世代の育て方講座 | 連携企業等: ハローライフ |
| 期間: 令和7年3月 | 対象: 全学科教員90名 |
| 内容: Z世代の価値観に合わせた育成方法や指導方法についてのセミナー | |

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1) 学校関係者評価の基本方針

学校関係者評価においては、本校にて実施している自己評価(学校運営・教育活動・学生支援・教育環境・学生の受け入れ募集など)を基に、業界企業・教育団体・地域との連携による教育活動など、本校の活動について説明。そして、さらなる教育活動へつなげていくために様々な角度からその運営が適正に行われているのか等、審議・助言いただき、今後の発展・改善に寄与していく。

(2) 「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

| ガイドラインの評価項目 | 学校が設定する評価項目 |
|----------------|-------------|
| (1) 教育理念・目標 | 教育理念・目標 |
| (2) 学校運営 | 学校運営 |
| (3) 教育活動 | 教育活動 |
| (4) 学修成果 | 学修成果 |
| (5) 学生支援 | 学生支援 |
| (6) 教育環境 | 教育環境 |
| (7) 学生の受け入れ募集 | 学生の受け入れ募集 |
| (8) 財務 | 財務 |
| (9) 法令等の遵守 | 法令等の遵守 |
| (10) 社会貢献・地域貢献 | 社会貢献・地域貢献 |
| (11) 国際交流 | ※該当なし |

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 学校関係者評価結果の活用状況

意見:精神的な不調や人間関係の不適應を原因として登校できなくなるケースが中学、高校でも散見されるようになっているが、どのように対応しているのか。

活用状況:新入生の個別状況をできるだけ早く把握するために、入学してから授業が開始するまでの期間に保護者面談の機会を新たに設けるほか、担任による学生、保護者との情報共有を強化している。

(4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿

| 名前 | 所属 | 任期 | 種別 |
|-------|---|------------------------|-------|
| 三原 淑治 | エム・アイ・プランニング株式会社 代表取締役 | 令和5年4月1日～令和7年3月31日(2年) | 企業等委員 |
| 東 龍太郎 | RITA学園高等学校 副校長 | 令和5年4月1日～令和7年3月31日(2年) | 校長等 |
| 高橋 国明 | 第6期生(1994年卒業)(株式会社白竜社取締役) | 令和5年4月1日～令和7年3月31日(2年) | 卒業生 |
| 石井 博章 | 江坂企業協議会 副会長 株式会社マルエス サニーストーンホテル 代表取締役社長 | 令和5年4月1日～令和7年3月31日(2年) | 地域関係者 |

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例)企業等委員、PTA、卒業生等

(5) 学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ・広報誌等の刊行物・その他())

URL: <https://www.cat.ac.jp/data/>

公表時期: 随時

授業科目等の概要

| 文化・教養専門課程 総合学科 | | | | | | | | | | | | | | | | |
|----------------|------------------|------------------|-----------|--|---------------------------------|------------------|-------------|--------------|--------|--------------------------------------|--------|--------|--------|--------|---------------------------------|---|
| 必 修 | 選 択 必 修 | 自 由 選 択 | 授業科目名 | 授業科目概要 | 配 当 年 次 ・ 学 期 | 授 業 時 数 | 単 位 数 | 授業方法 | | | 場所 | | 教員 | | 企 業 等 と の 連 携 | |
| | | | | | | | | 講 義 | 演 習 | 実 験 ・ 実 習 ・ 実 技 | 校 内 | 校 外 | 専 任 | 兼 任 | | |
| 1 | ○ | | 音楽業界概論 | 音楽業界の歴史的背景や成り立ち、そして、業種の仕組みやその関連業種等についても学びます。著作権、流行、ソーシャルメディアへの対応も含め業界への指向を深めていく内容です。 | 1・2年 通年 | 120 | 8 | ○ | | | ○ | | ○ | | | |
| 2 | ○ | | 音響工学 | 音響エンジニアにとって必要な知識を講義形式で学びます。音の基礎から用語の解説、実際に現場で使用する機材の概要や構造を学習します。またデジタルコンソールやレコーディングに関する基礎知識を学び、実際の現場で使える生きた知識を習得します。 | 1・2年 通年 | 120 | 8 | ○ | | | ○ | | | | ○ | |
| 3 | ○ | | 音響実習 | 音響機器の設置、操作やホール規模のPAの仕込み、チューニングなど実習します。またミキシングは1人1台のデジタルコンソールを使用し、音作りやバランス、エフェクター操作を学びます。 | 1・2年 通年 | 360 | 12 | | | ○ | ○ | | | | ○ | |
| 4 | ○ | | 照明実習 | 照明器具の取り扱いや実践に近い形での「仕込み」を学習します。また、調光操作卓の操作方法や楽曲とキューシートに合わせて、オペレートを行います。 | 1年 通年 | 120 | 4 | | | ○ | ○ | | | | ○ | ○ |
| 5 | ○ | | 演奏技術 | 歌唱・演奏技術に関する基礎的な反復練習を行い、無理なく実際の演奏に応用できる技術を養います。演奏するための持久力や安定性を高め、読譜や発想にも力を付けていく内容です。 | 1・2年 通年 | 240 | 8 | | | ○ | ○ | | | | ○ | |
| 6 | ○ | | アンサンブル | アンサンブルを通じて、バンドサウンドにおけるリズム、ハーモニー、メロディーなどのアレンジを体得します。また、ステージ上でのルール、マナー、音響・照明・進行に至るまでの知識を理解していきます。 | 1・2年 通年 | 240 | 8 | | | ○ | ○ | | | | ○ | ○ |
| 7 | ○ | | 音楽理論 | 基礎的な音楽理論と音楽ジャンルや各種楽器への理解を深めます。楽典的なものから読譜力や音程・和音や旋律の知識を習得して楽曲に対する理解を広げていきます。 | 1・2年 通年 | 120 | 8 | ○ | | | | ○ | | | ○ | |
| 8 | ○ | | 音楽史 | ポップスの歴史を通して、現在の音楽シーンの成り立ちやジャンルの派生、楽曲やアーティストに関する知識等を研究していきます。 | 1年 通年 | 60 | 4 | ○ | | | | ○ | | | ○ | |
| 9 | ○ | | パソコン演習 | DAWソフトを使用しMIDI打ち込み、MIDI音源使用方法、HDレコーディング、エフェクト、オーディオデータ編集等コンピューターベースでの操作方法、ノウハウを学びコンポーザーとして作曲に役立てる知識を学びます。 | 2年 通年 | 60 | 4 | | ○ | | | ○ | | | ○ | |
| 10 | | ○ | 照明実習 | 照明器具の取り扱いや、調光操作卓の操作方法や照明プランや仕込みを学びます。仮設照明で必要となってくるイントレ、トラスなどのセッティング方法や仮設電源の取り方も学びます。 | 2年 通年 | 120 | 4 | | | ○ | ○ | | | | ○ | |
| 11 | | ○ | レコーディング実習 | 自分たちの演奏を録音、作品として仕上げるというバンドの原盤制作的な内容で授業が行われ、ProToolsを使用したレコーディングのノウハウを学びます。 | 2年 通年 | 120 | 4 | | | ○ | ○ | | | | ○ | |
| 12 | ○ | | イベント制作 | 学生たちの自主性を重視したかたちで様々なイベント・コンテンツ等の発表を行います。互いに協力し企画・立案から実施運営に至るまでの内容を学びます。 | 1・2年 通年 | 80 | 2 | | | ○ | ○ | | | | ○ | |
| 13 | ○ | | 業界研究 | イベントの制作業務、ガイダンス参加、業界での必要な資格取得も率先して取り組んでいきます。また、演奏に関しては、高い技術力を持った演奏を研究する機会もあります。 | 1・2年 通年 | 136 | 4 | | | ○ | ○ | | | | ○ | |
| 合計 | | | | | 13 科目 | | | 76 単位 (単位時間) | | | | | | | | |

| 卒業要件及び履修方法 | 授業期間等 | |
|--|----------|-----|
| 学則、第21条、第22条に則り、各学期末の試験結果及び所定の出席日数により卒業要件：決定する。尚、各科目の試験などの内容については、各学科長及び担任と授業担当者が打ち合わせの上、決定する。 | 1学年の学期区分 | 2期 |
| 履修方法：定められた授業時間割を元に年間カリキュラムを履修。 (留意事項) | 1学期の授業期間 | 15週 |

- 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。